

ESD活動の充実に向けての見直しを

立春とはいえ、まだまだ寒い日が続きます。学校では、学習発表会や進学等で忙しいことと思います。

さて、来年度に向けての教育課程の見直しが行われていると思います。ESDの活動においても、来年度に向けての活動の見直し、指導計画の見直し等、各学年の課題を話し合い、来年度に向けてより良いESD活動の充実を図っていただきたいと思います。

指導体制の共有化



① 目指す子どもの姿の共有化

- 各学校のESDにおける「目指す子どもの姿」を明確に掲げることが大切です。
- 「目指す子どもの姿」を全職員で確認し共有化を図る必要があります。

② 指導内容の共有化

- 各学年の指導内容の改善点を検討し、来年度の指導内容を作成する。
- 地域の財産の活用、及び小中の内容の重なりや発展等を見直し。

③ 単元構成の共有化

- ESDにおける総合的な学習の単元構成の見直し。
- 学習の最後には、「今自分にできることは何か」という意識を持たせ行動化を図った単元構成になっているか見直しをする。
- 来年度のESDの単元構成を全職員で確認し、共有化を図る。

④ ESDの視点に立った能力・態度の重点化

- 単元構成からESDの7つの視点の重点化を図り、単元ごとの能力や態度を明確にする。

【ESDアシストプロジェクト助成金報告書】

提出締め切り: 3月14日(金)

提出先: 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟

「ユネスコスクールESD アシストプロジェクト」係

<報告書内容>

- ① 助成金利用報告書
- ② 事業報告書(A4枚程度)、活動の様子が分かる写真
- ③ 会計報告
- ④ 領収書

大牟田市立歴木中学校の実践

自己の生き方を考える活動を通して

本校の1年生は、総合的な学習の時間で3つの体験活動(①絵本教室、②疑似体験③施設訪問)を行いました。絵本教室では、「認知症」について学習を行い、知識を深めることができました。疑似体験では、高齢者や障害を持った方々の気持ちになり、どう接していけばいいかを考えることができました。福祉施設訪問では、実際に高齢者の方々とふれあい、関わることで高齢者の方々とつながりを感じることができました。この取り組みを通して、高齢者の方とともに幸せに暮らせる「大牟田」を築いていくためには何ができるか①自分ができること②みんなのできること③地域の一員としてできることを考え、グループごとに発表会で意見を交流しました。生徒から「これで終わりではなく、多くのことを学び、私達も高齢者の方も、だれもが幸せに暮らせるように、考え、行動していきたい」という感想が多く出されました。



大牟田市立倉永小学校の実践

「かかわり」の活動を通して

本校のESDでは、「かかわり」「つながり」を大切にしています。1年生活科では、「みんなみんな大すきだよ」の単元があります。家の仕事の種類や、している人を調べ、出し合う中で、仕事の多さ、同じ人がたくさんしていることを知りました。少しでも自分のできることをやってみようと、学校では、洋服たたみや片付け、靴洗い等を練習し、家でも実践しました。「ありがとう」と言ってもらって嬉しかった、みんなニコニコになった、毎日しているお母さんはすごいなどの気づきがありました。自分でできることが増えたことも大きな喜びだったようです。

これからも、続けたり、仕事の種類を増やしたりして、あたたかい「かかわり」「つながり」を、深めてほしいと思っています。

